

吃音哲学～吃音の豊かな世界への招待～

精神医学、臨床心理学、教育学、演劇など幅広い領域の第一人者を講師に迎えた吃音ショートコースでは、論理療法、アサーション・トレーニング、交流分析、認知行動療法、ゲシュタルト療法、当事者研究、内観、建設的な生き方、トランスパーソナル、からだごとことばのレッスン、笑いとユーモア、サイコドラマなどを学び、体験してきました。今後は、これらを、日常生活に、これからの人生設計に、また、どもる子どもの支援にどう活かすかを探っていきます。

新・吃音ショートコースは、現在、生活で困っていることだけでなく、こう考え、こう取り組めば、より楽しくより豊かに生きることができるという視点でも、生活や人生を見つめ直す場にできればと考えています。吃音を切り口にして、生きることを考える「吃音哲学」が今後ずっと続くテーマです。

最初からきちんとしたプログラムができてはおりません。とりあえずのおおざっぱな流れはあるものの、参加者の希望や要望で、柔軟に企画します。

今、ここで感じたことを率直に出し合い、対話を通して自分に気づき、他者に気づいていく、そんな時間を共有していただければと思います。

事前に希望、要望、提案をしていただければ、それに沿ったプログラムを組み立てます。遠慮なく提案して下さい。当日でも構いません。その場で、自分のこと、グループのこと、どもる子どもへの支援のあり方など、生活、人生を振り返り、今後の展望を考えましょう。ご参加をお待ちしています。

日時 2019年6月15日(土) 13:00～16日(日) 17:00

場所 大阪市立東淀川区民会館

〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路1-4-53 TEL 06-6379-0700

最寄り駅：阪急京都線「淡路」駅から700メートル。徒歩12分。

「淡路」駅は、大阪(梅田駅)から4つ目の駅です。

主催 日本吃音臨床研究会・NPO法人大阪スタタリングプロジェクト

〒572-0850 寝屋川市打上高塚町1-2-1526 TEL/FAX 072-820-8244

参加費 5,000円(宿泊費・食事代は各自ご負担下さい)

宿泊、ホテルは各自でご予約下さい。大阪市内ならどこでも便利です。

問い合わせ先 日本吃音臨床研究会

〒572-0850 寝屋川市打上高塚町1-2-1526 TEL/FAX 072-820-8244

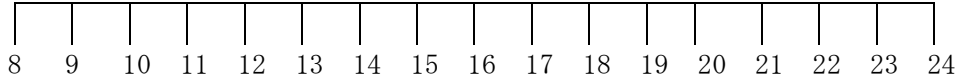
参加申し込み方法 ①名前 ②住所 ③電話番号 ④所属 ⑤プログラムについての希望や要望 ⑥吃音に関する質問 を記入し、FAXかはがきでお申し込み下さい。

参加費の送金 申込書の送付と同時に、郵便振替用紙をご利用の上、ご送金下さい。

加入者名 日本吃音臨床研究会 口座番号 00970-1-314142

送金の際の半券を、当日、受付でご提示下さい。半券が、参加証になります。

プログラム案 (②④⑤の内容は希望により組み立てます)



15日(土)

	①	②	昼	③
--	---	---	---	---

16日(日)

	④	昼	⑤	⑥	
--	---	---	---	---	--

セッション① 出会いの広場・自己紹介…新しく出会う人が互いに知り合うと同時に、2日間で何をしたいか出し合い、2日間の計画をみんなで考える時間。

セッション③ 発表の広場…どもる人本人は自分の体験を、どもる子どもの親は子どもとのかかわりでの体験を、ことばの教室担当者やスピーチセラピストの方は実践を、研究者の方は研究を発表し、参加者全員で分かち合います。ことば文学賞の発表も行います。

発表希望者は、申し込みのときにご連絡下さい。要項をお送りします。

ことば文学賞の発表も行います。

セッション⑥ みんなで語ろう、ティーチイン…参加者全員で吃音ショートコースを振り返ります。

セッション②④⑤ 内容は未定です。

たとえば、こんなことができそうです。

☆**公開面接<対話>**…今、困っていること、悩んでいること、みんなで考えたいことがあれば、伊藤伸二と対話をして、今の課題を明らかにして、展望を探ります。

☆**当事者研究**…今、困っていること、悩んでいることについて、当事者研究の手法を用い、やりとりをしながら、今後の対処を明らかにしていきます。

☆**論理療法、交流分析、アサーション、認知行動療法などのエッセンスを学ぶ**…今まで学んできたものを生活に生かす具体的方法を探ります。初めての人もよく分かるものにします。

☆**大阪吃音教室、ことばの教室のグループ学習体験**…参加者の希望に沿って、その場で、これらを開講します。

☆**日本語のレッスン**…言語訓練とは違う、日本語のレッスンを体験します。日本語の発音・発声の基本を学び、日常生活の中で使えるトレーニングです。歌を歌ったり、詩を読んだり、芝居のせりふを言ったり、からだを動かし、声を出す楽しさを味わいます。